地域安全ニュース　令和3年3月号　第300号
発行者　袖ケ浦市防犯協会　木更津警察署生活安全課内　電話0438(23)8231

ふれあい

還付金詐欺注意報発令中！

非通知設定で市職員や金融機関を騙る者から、「保険金の過払い金がある」という電話がかかってきています。電話の相手が官公庁を名乗っても信用せず、個人情報や在宅の有無を教えないで下さい。

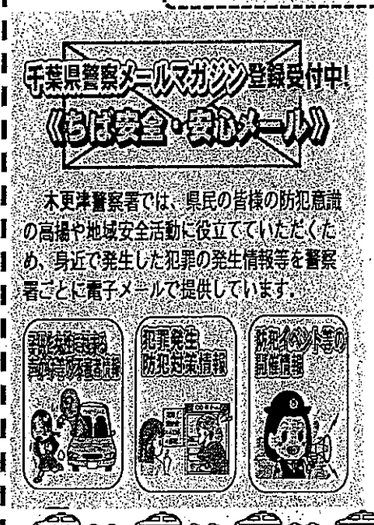
☆留守番電話機能を活用しましょう。
☆現金の自宅保管は控えましょう。
☆現金やキャッシュカードを要求されても渡さないで下さい。
☆不審な電話があったら家族や警察に相談しましょう。

不審者(車)見たらすぐ110番！

地域住民の皆さんの通報によって犯人が捕まるケースは少なくありません。不審者、車両を見かけたらすぐに110番通報をお願いします。

不審者を寄せ付けない地域環境を作るのに必要なのは、ご近所同士や出会った人にあいさつをしたり、一声かけたりして地域の連帯感を深めておくことです。特に児童の登下校時に、子どもにあいさつすることは、子どもを犯罪被害から守る大きな力になります。

～木更津警察署からのお知らせ～



登録は、下記QRコードもしくは県警ホームページからお願いします。
【県警ホームページ】(ポリスネット・千葉)
https://www.police.pref.chiba.jp/mailmagazine/

3月の移動交番開設予定表

日(曜日)	場所	時間
3月 1日(月)	臨海スポーツセンター	13:00~14:30
3月 2日(火)	平川公民館	13:00~14:30
3月 6日(土)	長浦公民館	13:00~14:30
3月 8日(月)	袖ケ浦公園	13:00~14:30
3月 13日(土)	袖ケ浦市民会館	9:00~11:00
3月 14日(日)	臨海スポーツセンター	13:00~14:30
3月 16日(火)	平川公民館	13:00~14:30
3月 21日(日)	長浦公民館	13:00~14:30
3月 22日(月)	袖ケ浦公園	13:00~14:30
3月 24日(水)	袖ケ浦市民会館	9:00~11:00

(事件・事故等の発生や気象状況等により変更になる場合がありますので、詳細は木更津警察署地域課にお問い合わせください)
0438(22)0110(代表)

あなたの地区内での主な盗難被害の発生状況
(令和3年1月)(防犯協会調べ)

	忍び込み	空き巣	事務所荒し	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	ひったくり	合計
昭和地区	0	0	0	0	0	3	2	0	5
長浦地区	0	0	0	1	0	0	0	0	1
根形地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平岡地区	0	0	0	0	0	0	1	0	1
中富地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0

市内の『電話de詐欺』被害状況(令和3年1月～2月19日現在)
発生件数　0件・被害額　0 円

各支部の防犯指導員から一言　NO244

昭和支部　長浦支部　根形支部　平岡支部　中富支部

令和二年から三年と本当にコロナ禍が続いています。防犯指導員の活動も自粛で出来ない状態です。

会議や案内はリモートや手紙でできますがパトロールができないのが心配です。

緊急事態宣言が延長となり自粛も続く中でも犯罪はおきます。外出する人が少なければ人目を気にする事も減るのか、皆がマスクをしているので目立たないと思うのか、この頃のニュースでは大胆な犯罪が多い気がします。

相変わらず減らない電話de詐欺、これは進化(悪化)を続けています。親族、ご近所等なかなか顔を見に行く事や、直接声をかける事は難しいですが、まずは身近な高齢者に「大丈夫かい？」「何か変わった事はないか？」と他人事ではなく、自分も被害者になるかもしれない等伝えたいと思います。

野田市で当時十歳の女の子が、父親から浴室で冷水を浴びせる等の虐待を受け死亡した事件から二年が経過した。また、最近では埼玉県で父親の虐待で生後三ケ月の乳児が死亡した。

乳児を司法解剖した結果、顎と肋骨の骨が折れていたという。虐待は年々増加しているが、新型コロナウィルスの影響による生活不安や外出自粛で、昨年から本年にかけては更に増加しているとの見方もある。過日、新聞か雑誌で読んだことであるが、子どもに恵まれない夫婦が、養子縁組を希望し、初めて当該の赤ちゃんを抱き、飲みの悪いミルクを与えたところ、ぐいぐい飲んだという。女性はこれこそ本当の母親をいたのだと思い涙が出たそうだ。

「あなたの見過ごしや無関心が児童虐待の解決を遅らせます。児童虐待かと思ったら、すぐに関係機関に通報して下さい。大事に至る前に！」

コロナ禍の中でも、時は過ぎて季節は冬から春へと移り変わります。そして、四月は防犯指導員の新メンバーによる出発となります。

さて、その中で私事ではありますが、十期二十年活動した防犯指導員を退任することとなりました。振り返ってみれば、区の役員からと言われて受諾してから、一期二年だからと言われず二十年だった気がします。本来プラス思考の自分は「どんな人と出会えるのか」など、不安より期待の方が大きかったです。是非、新任の皆様には、ポジティブな気持ちでやっていただければ、防犯指導員が楽しい思い出となると思います。

最後に、心残りは最後の一年がコロナの影響で、活動が満足にできなかったことです。留任される皆様には、コロナ禍の中、新しい防犯活動の在り方を模索していただければと思います。

新型コロナウイルスの緊急事態宣言が再度出され、袖ケ浦市でも感染者が急に増えて百数名になった。

そんな中でも様々な手で詐欺を仕掛けてくる。

私が最近受けた電話で、買い取りの電話が多い気がする。

貴金属、洋服、何でもいいと言う。

詐欺とは関係ないと思うが、電話で様々な詐欺が横行している中に家に来ると買い取りになると、それだけで済むのか？相手が本当に悪質な業者なのか等考えたら、気持ち、気をつけるのいいものではないと思うので、気をつけるのが必要ではないかと思う。

いずれにせよコロナウィルスが早く収まり通常の防犯活動が出来るようになり、犯罪抑止に貢献できるようになればいいと思う。

地域の防犯に大切なものとして、地域の連携、眼(監視)、防犯意識といったものが重要であると言われています。それは侵入盗や車上狙い等の抑止には有効です。その為青パト車等によるパトロールを地域で行っていますが、近年では「電話de詐欺」のように個人をターゲットにした犯罪が多発しています。手口も益々巧妙化し「私は騙されない」という意識だけでは見破り難くなっています。また、ネット上(SNSやメール)での詐欺は指一本で携帯電話やパソコン等の内部情報が奪われ悪用されます。今後、キャッシュレス化が推進されるとそうした犯罪が増加すると考えられます。とても難しい世の中になったと思いますが、常日頃から注意を払い、財産を守る術としてわからない事はすぐに誰かに相談する事を心がけましょう。